

2022.02.09

ポンポン咲きのアスター「あずみ」シリーズに初めての花色 グラデーションがさわやかな“トップ”カラー2 品種

- ポンポン咲きでは珍しいグラデーションカラー2 品種の種子を、生産者向けに発売
- アスターの栽培において深刻な被害をもたらす萎凋病に強く、安心して栽培できる



サカタのタネは、ポンポン咲きのアスター「あずみ」シリーズに『あずみ トップブルー』=写真上=『同 トップローズ』=写真下=の2 品種を追加し、種子を営利生産者向けに2月16日（水）から販売開始します。アスターは中国原産のキク科の草花で、日本には江戸時代に渡来したと言われています。以来お盆の供花としてキクとともに高い需要を誇り、直売所での引き合いも強い品目です。またパック花やフラワーアレンジメントの花材、ウェディングの装花など使用用途も広がっており、現在では年間を通じて流通している重要な切り花の一つです。「あずみ」シリーズは中生高性、花径は約5～5.5cmで、スプレー状のまとまった草姿（ほうき立ち）になる品種です。その丸くかわいらしい花形から供花以外での需要も高く、アスターの栽培において深刻な被害をもたらす萎凋病^{※1}に強いため、安心して栽培いただけます^{※2}。

『あずみ トップブルー』『同 トップローズ』は、ポンポン咲き品種では珍しい“トップ”カラーで、花の中心から花弁の先（トップ）にかけて、それぞれブルー・ローズのグラデーションとなります^{※3}。両品種は、シリーズの中でも特に萎凋病に強いため育てやすく、草丈もとれ、また『同 トップブルー』はキクには遺伝的にない青系の花色で、アスターのさらなる需要喚起に貢献すると期待しています。

『あずみ トップブルー』『同 トップローズ』の希望小売価格^{※4}は、種子20ml袋（約4,800粒）4,400円、5ml袋（約1,200粒）1,500円です。全国のJA、種苗店を通じて、2022年2月16日（水）から販売します。

●株式会社 サカタのタネ 〒224-0041 横浜市都筑区仲町台2-7-1

●<https://www.sakataseed.co.jp>

【報道用参考資料】

■アスターで圧倒的なシェアを持つサカタのタネ

当社はアスターの品種開発を、60年以上前から開始しました。1978年には、萎凋病耐病性に優れ、今日まで「アスターの定番品種」として国内外で評価されている「松本」シリーズを発表。さらに、従来のアスターのイメージから脱却し、用途の可能性を広げた「ステラ」シリーズも開発し、「あずみ」シリーズも含めた当社アスターの市場シェア（国内切り花向け種子）は約70%（自社推定）と圧倒的な強さです。

アスターは、切り花向け需要だけでなく、趣味園芸家がタネから栽培する品目としても人気です。当社は今後も、皆さんに喜んでいただけるアスター品種を開発してまいります。

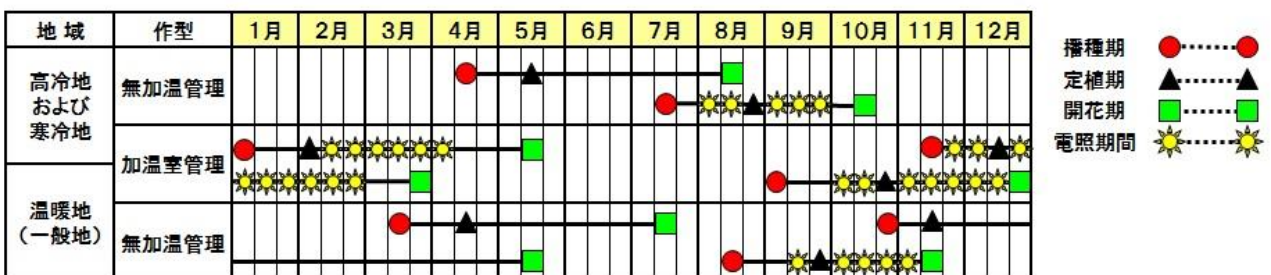


「松本」シリーズ（上）、「ステラ」シリーズ（下）

■「あずみ」シリーズ ラインアップ（9色9品種）

品 種	花 色
あずみ トップブルー	紫青色のグラデーション
あずみ トップローズ	桃赤色のグラデーション
あずみ ライトピンク	やさしく明るい桃色 日本フラワー・オブ・ザ・イヤー2017 切花部門 ライフデザイン特別賞受賞
あずみ スカーレット	鮮やかな紅色
あずみ ローズ	桃赤色
あずみ ローズピンク	濃い桃色 第58回・第62回 全日本花卉品種審査会 1等特別賞受賞
あずみ ホワイト	白色
あずみ ライトブルー	涼しげな空色
あずみ ブルー	紫青色 第61回全日本花卉品種審査会 1等特別賞受賞

■ 『あずみ トップブルー』『同 トップローズ』の作型図



※1 萎凋病（立ち枯れ）：フザリウム菌（カビの一種）によって引き起こされる土壌伝染性の病害。発生すると株全体が枯死してしまい出荷不能となる。連作すると土壌中のフザリウム菌密度が高まるため、数年間は同じ場所で栽培することを避ける。

※2 ただし、フザリウム菌による病害発生を避けるため、連作を避けることを推奨。

※3 咲き進むと単色に近くなるため、適期収穫を心がける。

※4 価格は全て希望小売価格（税抜き）です。価格の自主的な決定を拘束するものではありません。